

平成23年6月26日
「水銀条約を考える会」説明資料

水銀条約に関する 熊本県の取組みについて



熊本県環境生活部

政策審議監 内田 安弘

1 水銀条約に対する本県の考え方

- ①メチル水銀を原因物質とし、「公害の原点」とも言われる水俣病が発生した地域として、熊本県、水俣市は連携して水銀条約締結に向けた取組みに貢献する必要がある。
- ②水銀条約の採択と署名のための外交会議の本県招致は、水俣病の歴史と教訓を世界に発信するまたとない機会として、重要な意義がある。
- ③世界中の方々にこの地を訪れていただき、水俣病の歴史や教訓とともに、現在の水俣(自然との共存、環境や地域の再生に向けてたゆまぬ努力を続ける人々の姿)に触れてほしい。

2 水銀に関する熊本県の取組みについて

(1) これまでの取組み

①「水俣湾環境対策基本方針」に基づき、水俣湾の水質、底質、埋立地周辺地下水及び魚介類の水銀値の調査を、毎年継続して実施。

②水質汚濁に関する水銀の排水基準について、県条例により国の基準より10倍厳しい上乗せ基準を設定

2 水銀に関する熊本県の取組みについて

(1) これまでの取組み

③水銀をはじめとした有害大気汚染物質について、本県が幹事県となり、九州各県の連携による観測、情報共有、緊急時対応等の体制を確立。

④県内市町村に対して、一般廃棄物に係る蛍光管のリサイクル(埋立て廃棄の削減)を働きかけ。(現在、県内の全市町村でリサイクル実施)

2 水銀に関する熊本県の取組みについて

(2) 新たな取組み

① 水銀ゼロ推進等事業(平成23年度新規事業)

- i エコパーク水俣や県環境センターの水銀灯・蛍光灯をLED照明に転換

エコパーク駐車場の水銀灯



環境センター下駐車場の水銀灯



2 水銀に関する熊本県の取組みについて

(2) 新たな取組み

① 水銀ゼロ推進等事業(平成23年度新規事業)

- ii 医療機関や学校等の水銀血圧計・水銀体温計についての使用・管理状況の実態調査を実施

- iii 水銀削減に向けた県民啓発の実施

2 水銀に関する熊本県の取組みについて

(2) 新たな取組み

② 県庁駐車場等におけるLED照明の設置(ゼロ予算事業)

民間事業者との協働により、県庁南側駐車場と県庁本館1Fロビー内にLED照明を設置・展示(平成23年3月から実施)

2 水銀に関する熊本県の取組みについて

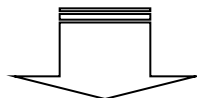
(2) 新たな取組み



県庁南側駐車場LED照明



県庁本館1階LED照明



水銀条約や外交会議招致に向けた機運の醸成

3 まとめ(水俣病問題に対する本県の取組み)

